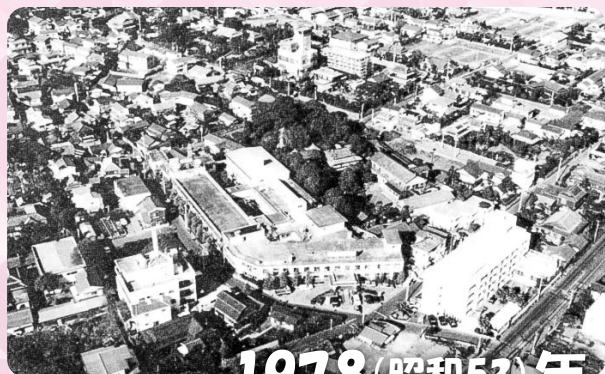


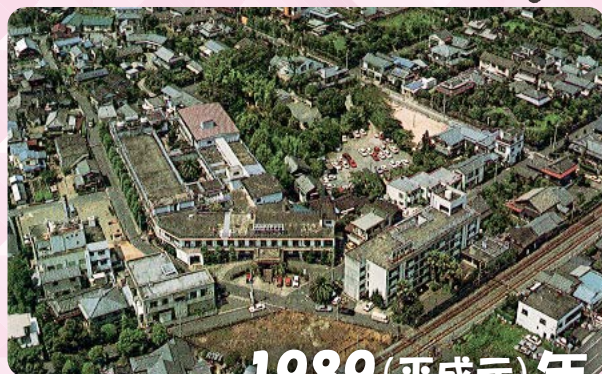
Kuroki Memorial Hospital

きずな

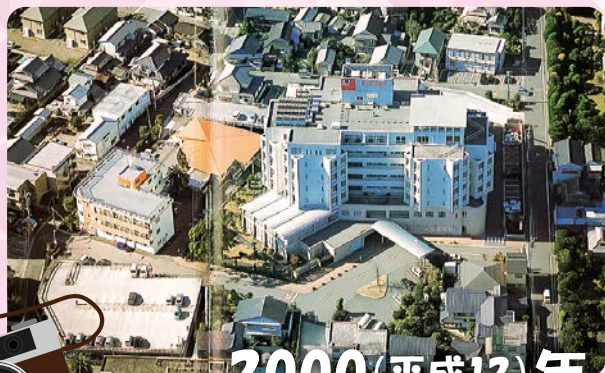
kizuna



1978(昭和53)年



1989(平成元年)年



2000(平成12)年



2023(令和5)年



kizuna  pickup
今月の
「きずな」写真

昭和28年10月に黒木医院として始まった当院歴史は、令和5年10月で70年を迎えた。昨年、70周年記念関連行事がコロナ禍により縮小した形ではあったが、粛々と執り行われた。この70年を振り返るにあたり、各年代の航空写真の記録が残っていたので掲載する。昭和から平成のはじめまでは周辺には高い建物もなく、緑も多い、そして保養所や旅館なども見られる。70年という長い時間の中で、それぞれの時代を感じることができる。

目次

Index

- 理事長あいさつ
- 写真で振り返る黒木記念病院「70年のあゆみ」
- 大分県働きたい医療機関認定「大分ホスピレート」が授与されました
- 新入医師を紹介します／看護部長から新任のご挨拶
- 美味しく食べる健康レシピ
- 出来事 2024年2月～7月





理事長あいさつ

医療法人社団春日会 黒木記念病院

理事長・院長／黒木 健次

創立70周年を迎えて

創立70周年を無事に迎えて、関係者全ての方から感謝を申し上げます。黒木記念病院の歴史は初代理事長黒木健夫が昭和28年10月1日に黒木医院を開設し始まりました。その後70年の間、病院の急速なる発展に伴う増改築、個人病院の経営の限界による医療法人への変更、バブル崩壊後の経済の悪化や高齢化社会に伴う急速なる医療費の高騰に対する診療報酬の抑制への対応、また病院経営に関しても新病院建設後経営状態が安定していないまま無理な投資を繰り返し徐々に経営状態は悪化し非常に苦しい時期もありましたが、診療部を初めとする職員一同と平成19年4月より新理事長として心機一転経営努力を行い、その後徐々に経営状態は改善してきました。平成25年10月26日には60周年記念式典を開催し、60年間の歴史や沿革に関して報告を行いました。最後に、「平成24年度の収益は過去最高の成績となり、病院経営も安定化してきました。今後は地域に密着した医療を行っていきたくと思います、そのためにはもっと体力を付け、強固な土台を持つ揺るぎない経営体制を作ることです」と述べ締めくくりました。

さてその後の10年はどうでしたでしょうか。以前から問題となっていました、少子高齢化や地域医療構想などの諸問題が徐々に現実化し、医療施設を圧迫するようになってきました。当院でも、平成26年に総合ケアセンター、地域包括ケア病棟、平成30年には介護医療院を開設し病院経営安定のため対応してきました。また国の掲げる地域包括ケアシステムに対しても予防事業活動や地域包括ケア会議への参加など積極的に行ってきました。しかしご承知の通

り令和元年末に中国武漢で原因不明の肺炎が発生し、令和2年3月には「新型コロナウイルス感染症」と命名されました。全世界的に急激に広まり、今までに経験のしたこともない感染症の発生となりました。当院でも令和3年5月から令和5年5月までに、16回の感染と5回のクラスターを経験しました。このような広範囲かつ多数で頻回なる院内感染の経験はなく、全く分からない状態でしたが、感染症対策委員会を始め職員が一丸となり、どうか対応することが出来ました、しかし病院経営や収益に関しては非常に不透明な状態になりました。その後ワクチンの投与や薬の開発により、徐々にコロナ感染の影響が軽減すると、社会的経済状況の関係もあり、令和5年3月13日にはマスク着用義務がなくなり、5月8日からインフルエンザ同様5類に分類されました。一見ポストコロナの時代になりましたが、感染者数が減ったわけではなく、医療関係施設は今後も十分な感染対策が必要です。病院経営の過去10年間の内、後半5年間はコロナに振り回される状況でした。

ではこれからの時代、医療界はどのように変化し、当院はどのように対応していかなければならないのでしょうか。インフルエンザやコロナなど感染症に関してもまだまだ発症数の減少を認めず今後も問題になると思いますが、やはり少子高齢化や地域医療構想の進行に伴い医療界への負担が急速に進み経営的にもかなり苦しくなると思います。特に団塊の世代が75歳以上になる2025年はそこまで来ていますが、働き手である若手職員の減少はすでに始まっていますが、今後は利用者である高齢者も徐々に減少してきています。75歳以上の後期高齢者も2030年

頃からは減少に転じます。そのために国からは病床の削減を含めた病院編成の変更を迫られています。このような状況の中で当院の方向性を考えてみると、平成14年当院の理念を改正したときに、「地域に密着した医療法人であり医療・看護・介護・予防を行い在宅医療へ対応する」と掲げました。そして、理念に準ずるように整形外科を主体とした老人急性期対応、充実したリハビリテーションの確立、介護保険を主体とした在宅医療、看護、介護に対応できる総合ケアセンターの開設を行ってきました。現在では当院はかかりつけの利用者様に対して医療だけでなく在宅介護まで携わり、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう

に対応しています。この方向性が当院が今後進んでいく方向ではないかと思えます。つまり奇しくも厚生労働省が後期高齢者の増加に対して地域包括ケアシステムを唱えています、当院は平成14年の理念に従い現在すでに独自の地域包括ケアシステムにて地域住民のために活用しています。しかしまだまだ各部署不十分であり今後の医療の変化に対応するためにはよりいっそう研鑽を積んで十分対応出来るようにする事が重要だと思えます。地域に密着した病院を目指すことにより住人の皆様から熱い信頼を得、病院が発展していくものと信じています。これから更に職員が一丸となって黒木記念病院の将来を支えていってほしいと願っています。

■黒木記念病院の方向性

1) 高齢者の救急医療を行う。

温泉で有名な別府市内には多数の介護施設が点在しており、高齢者の外傷の治療として整形外科専門病院として発展してきた病院であり知名度は高い。

2) リハビリテーション部を充実し急性期・亜急性期及び回復期病棟対象の患者様の在宅復帰をはかる。

周囲には国公立に準じた公益性の高い病院が周囲に5施設も存在し、当院としては充実したリハビリテーションを活用し、患者様が自宅復帰できるように協力し対応する。

3) 地域の急性期医療～慢性期医療～終末医療～在宅医療と医療と介護の領域においてトータルケアサービスを行う。

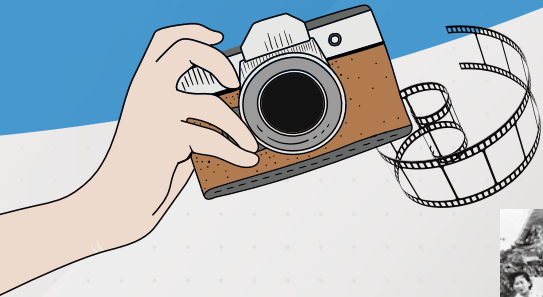
全ての領域での医療・看護・介護の対応、在宅医療の支援が出来る機能を有しており、患者様が住み慣れた地域で自分らしい生活が出来るように支援することが出来る。



写真で振り返る 黒木記念病院

『70年のあゆみ』

地域医療への貢献に向け、
これからも一層の努力をして参ります



1953

• 黒木医院を開院



1953

1964

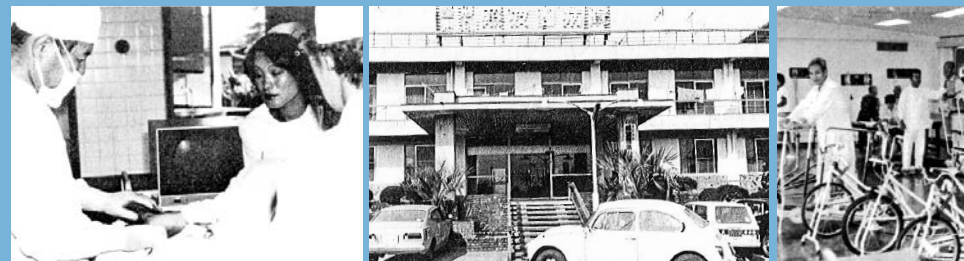
• 黒木医院完成



1964

1969

• 照波園病院に変更



1969

1995

• ケアミックス型へ移行



1995

1999

• 医療法人社団 春日会
黒木記念病院に変更



1999

2014

• 総合ケアセンターくろき完成
2014



2023

2023

• 創立70周年



祝 黒木記念病院70周年記念式典



大分県働きたい医療機関認証 『大分ホスピレート』が授与されました。



2024年3月15日大分県庁で「大分県働きたい医療機関認証～大分ホスピレート～」の認定証交付式が行われました。大分県働きたい医療機関認証とは、職員が働きたい(働きやすい)と思う病院になるよう努力している医療機関に対し、第三者機関からの審査・評価のもと、その基準を満たした医療機関に対し、大分県から認証が付与されるものです。

黒木記念病院は、これまで『人を大切にする』というスローガンを掲げ、就労環境の改善や人材育成については特に力を入れてきたところ。今後も、この認証に値する医療機関として、一層魅力ある病院作りに努めるとともに、地域医療に益々貢献していけるよう、職員一同努力してまいります。



新入医師を紹介します！ 2024年7月1日入職

一般内科・神経内科・脳神経外科
精神科・大分オレンジドクター

春田 竜美 (はるた たつみ)



■趣味・特技

- 音楽 (中/高ブラスバンド部)「響けユーフォ」のユーフォニウム ・旅 (砂漠やオフロード好き)
- バイク (大型自動2輪)
- 1級小型船舶操縦士 (特殊/特定 有)
- OWスキューバダイバー
- 第三級アマチュア無線技師



■モットー

『生きることは食べること。誰にでも平等』

■一言

元々脳外科医で救急ばかり診ていましたが、予防や事後のリハビリの必要性も学び、そして多くの患者さんが自宅で埋もれている実情を知り、約13年前に大分市で訪問診療専門の在宅クリニックを開業し、「頭痛外来」や「もの忘れ外来」も実施しておりました。脳卒中はもとよりパーキンソン病等の難病、脳腫瘍や癌、うつ、認知症 (大分オレンジドクター) 等の疾患を得意としております。今回縁あって別府に戻り、黒木記念病院で勤務することとなり、地域医療の一助となればと思っております。

看護部長から 新任のご挨拶

看護部長 藤本 恭子



この度、12年という長きに渡りご尽力くださった阿部看護部長の後継として就任いたしました藤本恭子と申します。これまで築きあげられたことを引継ぎ、病院理念のもと地域の医療・環境づくりに貢献できるよう努めて参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

当院看護部は看護師、介護福祉士、看護助手合わせて約175名のスタッフがおります。近年は、人材不足が騒がれているなか、当院独自の「段階別復帰プログラム」にある無理のない働き方が功を奏したことで出産後も就業を継続してくれる子育て世代が増加、結果各層も厚くなってきました。

また当院は安心して働き続けてもらうために、新人教育・ラダー別研修・院内外研修・管理研修などキャリアアップを支援する教育体制を整えています。看護を通じ感性豊かな人間性を育み、成長していけるようサポートします。

看護部の理念の「患者様が主役」の質の高い看護・介護を提供すること、その課程である連携医療を合言葉に、地域住民の健康を守り、その人らしくいられるよう支援することを目指していきたいと思っています。そして、人の痛みや心の機微を捉え言葉にならない思いにも気づくことができるような看護師の育成に尽力を尽くす所存です。

美味しく食べる健康レシピ 第23回



栄養給食科
科長 管理栄養士
豊嶋 知恵美

◆たこの和サラダ(2人分)◆

エネルギー: 83kcal 塩分: 1.1g (1人分)

[材料/2人分]

たこ……………100g
とまと(1個)……………130g
オクラ(6本)……………50g

[調味料]

ポン酢: 大匙1杯
麵つゆ(2倍濃縮): 小匙1/2杯
ごま油: 小匙1杯
いりごま: 1.0g
かつお節: 1.0g

[作り方]

- ① とまとは一口大に切り、茹でたこはぶつ切りにする。
- ② オクラは塩を振り、板ずりし、ラップに包んで500Wで1分半加熱する。
- ③ ②を冷水に晒し冷やし、一口大にカットする。
- ④ 調味料(ポン酢、麵つゆ、ごま油)でたこ、とまと、オクラを和え、仕上げにいりごまとかつお節で和える。

『たこの和サラダ』

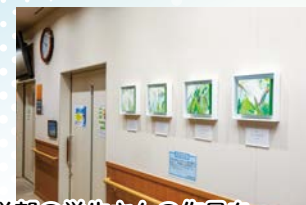


くろこの豆知識

夏至は、ちょうど田植えの時期に重なります。田植えが終わる頃を半夏生と呼びますが、これは夏至から数えた11日目にはじまる、5日間のことです。豊作物を育てる目安となる時期なので、関西地方では半夏生にタコを食べる風習があります。これは稲の根が四方八方にしっかりと根付くように、稲穂がタコの吸盤のように立派に実るようにと、豊作を祈った風習です。

出来事 2024.2月~7月

2月 KUROKI ~ Art in Hospital ~



別府大学文学部の学生さんの作品を病院に展示。アートで病院に癒しを。



3月 大分ホスピレート 授与

新入職員研修



70周年記念誌 完成



新たに13人の仲間が加わりました。

7月 介護実務者研修開講 2年ぶりの開講



波津久先生、22年間お疲れ様でした。

病院の理念

基本理念

すべての人々の健康を守り、
幸せな生活を支援する
医療法人春日会であること

- 1 地域に密着した医療法人春日会としての使命を果たすべし
- 2 その人が望み、かつふさわしい全人的医療・看護・介護・予防を行うべし
- 3 医療法人春日会職員としての自覚と情熱をもつべし

ご利用案内

受付時間/午前8:30~11:30 午後1:00~4:30

※救急患者は時間外でも受付・診療いたします

診療時間/午前9:00~12:00 午後1:00~5:00

休診日/休日、日曜日、祝祭日、盆休(8/14・15)

年末年始(12/31~1/3)

※救急患者はこの限りではありません

診療科目

整形外科	内科	呼吸器内科	リウマチ科
消化器内科	外科	放射線科	リハビリテーション科
循環器内科	麻酔科(ペインクリニック)	神経内科	精神科
皮膚科	脳神経外科		

Information

■求人情報 看護師・准看護師・介護スタッフ募集!

やりがいのある職場です。一緒に働いてみませんか。ご希望の方またはご質問のある方は、下記連絡先へご連絡ください。

TEL0977-67-1211 FAX0977-66-6673

E-mail:info@kuroki-hp.or.jp

入院相談、医療・福祉制度に関するご相談がありましたら
地域医療連携室へ

黒木記念病院 地域医療連携室

連携室/FAX0977-27-8771 E-mail:renkei@kuroki-hp.or.jp

外来診療担当医表

2024年8月19日~

	内科		総合診療 (ペインクリニック)		消化器内科		外科		整形外科		麻酔科 (ペインクリニック)		摂食嚥下外来	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
月	渡邊泰樹 春田竜美	鳥羽聡史	谷口一男		新垣淑辰		甲斐哲司		野口蒸治 佐々木伸一	黒木健次	平木達弘			伊東猛雄
火	伊東猛雄 鳥羽聡史	渡邊泰樹	谷口一男		—		—		黒木健次 阿部欣生	野口蒸治	平木達弘			—
水	塚田 聡 井上 健	井上 健	—		新垣淑辰		甲斐哲司		戸澤興治 佐々木伸一		—			—
木	渡邊泰樹 波津久陸二	鳥羽聡史 塚田 聡 (第1再来のみ)	—		新垣淑辰		甲斐哲司		黒木健次 別府医療	佐々木伸一	—			—
金	塚田 聡 春田竜美	伊東猛雄	谷口一男		第1のみ:新垣淑辰		甲斐哲司	大分大 大外科	野口蒸治 阿部欣生	黒木健次	平木達弘			—
土	九州大学病院別府病院		谷口一男		第3のみ: 新垣淑辰				第1:大分整形外科病院 第2・4:大分大学医学部 第3・5:武蔵野赤十字病院		平木達弘	—		—

※皮膚科[別府医療センター]:隔週の土曜日・午前(受付時間 8:30~10:30)

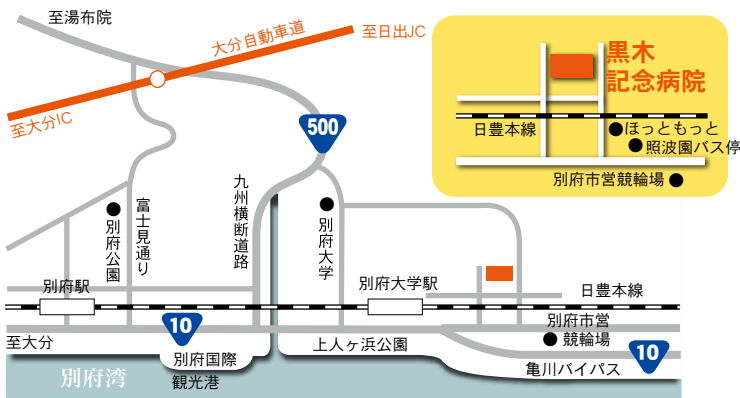
※整形外科の午後の診療は手術等により診療できない場合がございます。

なるべく午前中に診察いただくか、当日電話にてお問い合わせください。

※摂食嚥下外来は「完全予約制」となります。あらかじめお電話にてご予約をお取りください。

※急患及び手術の場合は、都合によりお待たせすることがございます。

交通案内



附属法人事業

医療法人春日会は、ケアミックス型病院事業を中心に、施設・在宅介護サービスなど幅広く、地域に密着した医療・看護・介護・予防を展開しています。

通所リハビリテーション くらき……………TEL0977-67-1212
総合ケアセンター くらき

- 居宅介護支援センター くらき……………TEL0977-27-6200
- 訪問看護ステーション くらき……………TEL0977-66-6928
- ヘルパーステーション くらき……………TEL0977-84-7168
- 看護小規模多機能型居宅介護 くらき……………TEL0977-84-7184
- デイサービスセンター くらき……………TEL0977-84-7186
- 障がい者ケアサポートセンター 愛・愛……………TEL0977-27-6767
- 住宅型有料老人ホーム きずな……………TEL0977-84-7165

特定医療法人社団春日会

黒木記念病院

〒874-0031 大分県別府市照波園町14番28号
TEL0977-67-1211 FAX0977-66-6673
http://www.kuroki-hp.or.jp

総合ケアセンターくらき

〒874-0024 大分県別府市平田町2番2号
TEL0977-84-7165 FAX0977-84-7178
http://care.kuroki-hp.or.jp